

中古戸建＋リノベーション
新築建売＋リノベーション

フロアタイルってなに？
どんな風に施工するの？

フロアタイルはこの様に施工いたします。

● 貼る前の準備 <下地調整>

どんなに熟練した職人でも、これから仕上げていく下地の状態が悪ければ素晴らしい状態に仕上げていくことはできません。それほど下地の状態は仕上がりを左右するのです。既存の床材を剥がした跡や、明らかに凹凸があるような場合はできるだけ平らな状態に調整しておくことが大切です。

写真では全面の下地処理をしています。手で触ってみて下地が悪い箇所のみで大丈夫です。



パテが乾いたら、さらに凸凹がなくなるようにペーパーでサンディングします。

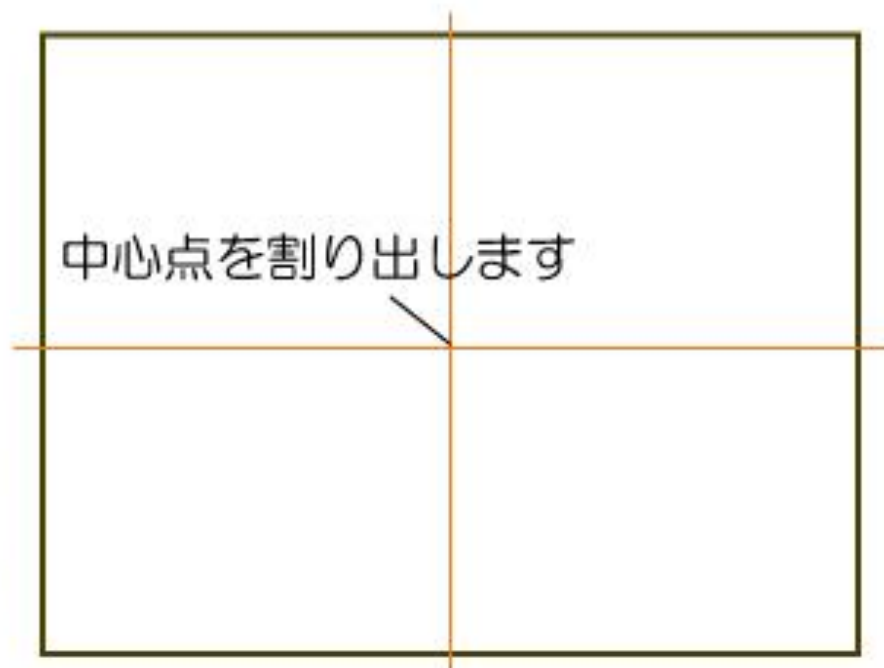


割付を位置出ししレイアウトを考える

● 貼りかた < 割り付け・墨つけ >

フロアタイルなどのすでに規格（形状や大きさ）が決まっている材料はどこから貼り出しても良いわけではありません。貼りやすいからといって適当に貼り始めてしまうと、部屋の隅に半端な大きさの箇所が残ったり、曲がって貼ってしまいます。確実に順序に沿って作業を行なって下さい。

1. 部屋の大きさを把握する・・・縦横の寸法をとり、対面に線を引き部屋の中心を出しましょう。隅や入口近くなどのフロアタイルが極端に小さくならないようにバランスをとって中心を出します。部屋の隅に小さい材料が入らないようにしっかり計算しましょう！



接着材を塗り貼り付けの準備

● 貼りかた <糊入れ>

フロアタイルはその材料の性質上、そのままにしておくとしルメイカのように反り返ってきてしまいます。そのため、貼る材料と下地にあった糊をひき、圧着する必要があります。付属の糊ヘラを使い、均等に糊をなびいていきます。そしてオープンタイム（乾くのを待つ時間）を空けてから圧着していきます。

1. 清掃した床に糊を適量おとします

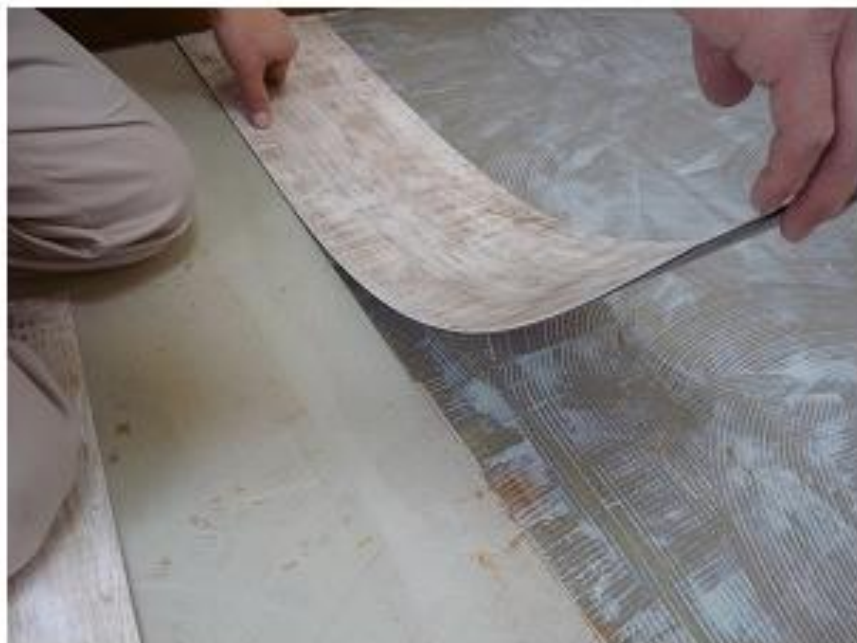


2. 専用ヘラで均等にならして床に塗っていきます。

フロアタイルを貼っていきます

● 貼りかた <貼りだし>

ではいよいよ実際にフロアタイルを貼っていきましょう。



割り付けをしてひいた線に沿って間を空けないようにきっちり・まっすぐに貼っていきます。この貼りだしが重要です。ほんの数ミリのずれが3m先ではかなりの目違いを引き起こします。定規などをあてて慎重に収めていきます。このまま部屋の端まで、真物（新しい加工していない1枚）が入らなくなるまで貼っていきましょう。

ローラーを使って圧着して貼っていきます。このときズレないように気をつけましょう。

貼り上がり(完成)

● 圧着・清掃

最後にもう一度ローラーなどでプレスし、圧着しながら仕上がりをチェックしていきます。糊のはみ出しや汚れなどもキレイに拭き取りましょう。拭き取りには、エタノールやオレンジオイルなどを使用すると床を傷めずにキレイになります。

この時点ですいてしまった糊は落とさないと、乾くとなかなか落ちなくなりますので気をつけて下さい！



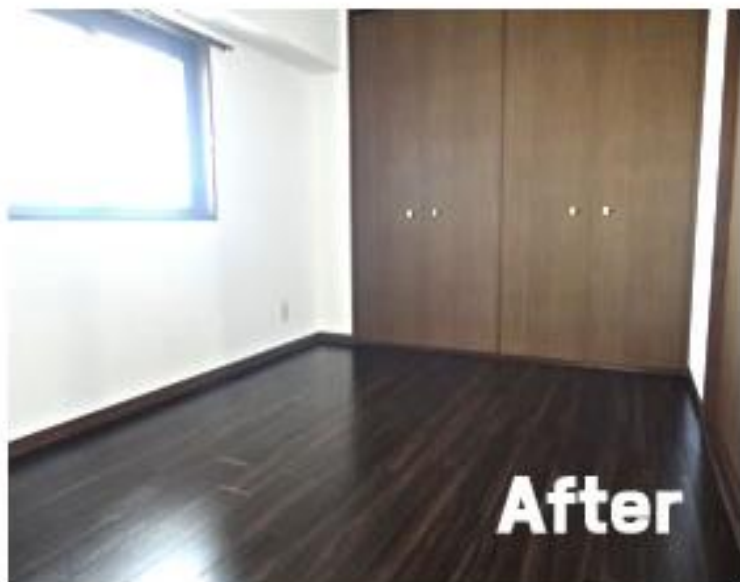
素材は樹脂ながら3Dプリント技術により実際のフローリングとそんじょくない質感に仕上がります。フローリングを施工するよりも安価にかつフローリングでは表現出来ない貼り方も再現できます。木目の他様々はデザインがありおうちのコーディネートに合わせてチョイスすることができます。

>フロアタイルの施工事例集は次のページへ

カーペット床をフロアタイル貼りに



洋室のフローリング床にフロアタイルを上貼り



和室を洋室に改装、床をフロアタイル貼りに



洋室のクッションフロア床をフロアタイル貼りに



様々は貼り方やデザインで
お客様の希望の床にチェンジする事ができます！

